

熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2022 年 7 月 26 日

氏名	Bさん		
留学開始時学年	3 年次		
学部/教育部	文学部	学科/専攻	コミュニケーション情報学科
留学先機関名	ウォーターフォード工科大学	国・地域名	アイルランド
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（ 学部・研究科） <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2021年 8 月 15 日 ～ 2022 年 5 月 19 日		
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）	熊本大学の授業料分			円		
語学研修費	0			円		
教材費	0			円		
ビザ申請費	45,000			円		
渡航費	320,000			円		
海外旅行保険料	170,000			円		
宿舎費	家賃	500,000	円	デポジット	40,500	円
生活費	光熱費	8,000	円 / 月	72,000	円 / 年	
	食費	13,000	円 / 月	117,000	円 / 年	
	通信費	3,000	円 / 月	27,000	円 / 年	
	交通費	1,000	円 / 月	9,000	円 / 年	
その他	娯楽費			200,000	円	
その他	（ 隔離・PCR 費）			90,000	円	
その他	（ 費）				円	
合計	1,590,500			円		

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他： 語
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> その他：
勉強方法	学内で開かれていたIELTS講座を受ける、過去問や例題を解いて制限時間になれる、ライティングパートは使える表現をまとめて覚える
留学先の手続き	
必要書類	<input type="checkbox"/> 語学能力証明書（ 語） <input checked="" type="checkbox"/> 健康診断書 <input type="checkbox"/> パスポートの写し <input type="checkbox"/> その他：
大変だったこと、どのように取り組んだか等	必要な書類が沢山あり、渡航も1ヶ月前に決まったことから全てがバタバタでした。特にクレジットカードをもっていなかったため、渡航が決まってから申請しましたがギリギリで届いたので、クレジットカードを持っていない方は早めに申請しておいた方がいいと思います。コロナのワクチン証明書なども必要になると思うので、市や政府機関のウェブサイトなどを見て早めに確認した方がいいです。

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	種類	ビザ申請は必要ありませんが、IRPという居住申請が必要
申請先	場所： <input type="checkbox"/> 国内 <input checked="" type="checkbox"/> 現地 GARDA (日本の警察署のような所)	手続きに要した期間	1ヶ月
手続きの流れ	GARDAにアポイントメントをとるためのメールを送り、指定された日時に必要書類をもって申請に行く		
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 入学証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 残高証明書 (金額: €3000) <input type="checkbox"/> 保険証 <input checked="" type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 語学能力証明書 <input type="checkbox"/> その他:		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			
特になし			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地
往路: JAL、British Airways 復路: JAL、British Airways	往路: 熊本→羽田→ロンドンヒースロー空港→ダブリン 復路: ダブリン→ロンドンヒースロー空港→羽田→熊本
手配 (利用したサイト、旅行会社等)	旅程
JAL	出発日時: 8月13日 到着日時: 7月7日

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他:	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 1人部屋 <input type="checkbox"/> 相部屋 (人) <input type="checkbox"/> その他:
同居人	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生	住居手配	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他:
住居の申込手順・方法	寮の予約はかなり早い時期に埋まってしまうため、留学が決まったらできるだけ早くコンタクトを取って仮押さえをした方がいいです。現地との時差などもありなかなかメールの返信が来ないこともありますが、数日経っても返事が来なければ確認のメールを送って良いと思います。デポジットの支払いは電話でクレジットカードの番号を伝えて支払いました。そのころは今より語学力が低かったこともあり非常に緊張しました。		
住居に関するアドバイス (寮の雰囲気、トラブルおよび解決方法等)	リバーウォークは非常に壁が薄いため、ルームメイトの部屋からの音や外からの騒音が気になることが多かったです。私はルームメイトが大声で夜中にゲームをしていたので何回か夜中は控えるように頼みましたが、それぞれのプライベートもあるので話し合いで解決できないときは、レセプションに相談し部屋を変えてもらうのもありだと思います。		
大学への交通手段	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他:	通学時間	時間 25 分

6. 現地情報・その他生活に関するアドバイス

現地での資金調達について (現地銀行口座の開設、クレジットカードの利用について等)	
現地では口座は開設せず、日本から持って行ったクレジットカード2枚を主に利用しました。何があるかわからないので上限は高めにしておいた方がいいです。	
保険について	
海外旅行保険	<input checked="" type="checkbox"/> 国内で加入 <input type="checkbox"/> 現地のものに加入
現地で加入を求められる保険	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり:
携帯電話・インターネットについて	
携帯電話について (SIMカードの購入について等)	Threeという大手の携帯ショップで月€20でギガ使い放題のSimカードを買っていた。
インターネットについて (ネット環境、Wi-Fiについて等)	寮や大学には基本的にWi-Fiがある

相談窓口について	
有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 学内（担当： International Office ） <input type="checkbox"/> 学外（機関名： ）
問題があったときに誰に相談したか	寮の問題であればレセプション、学校では教授や留学生のサポートをしているInternational Officeがあるのでそこに相談できる
病院について	
<input type="checkbox"/> 利用しなかった	<input checked="" type="checkbox"/> 利用した： Rowe Creavin Medical Practice
現地では調達できない日本から持って行くべきもの	
飲み慣れた薬、痛み止めや風邪薬など	

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	<input type="checkbox"/> 渡航前（ 月頃） <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後（ 9 月頃）
方法	<input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input checked="" type="checkbox"/> その他：2週間ほど試用期間がありそれを通して自分が受けた科目が確定すれば2, 3週間目に教授に報告し、Moodleに追加してもらう。その後に書類を提出する
留学生特例措置（有りの場合、詳細をご記入ください）	
履修制限	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り（ 1学期の間に3～6つ授業を履修できる ）
優先措置	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
オリエンテーション（留学生専用）	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り（ ）
チューター制度	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
その他	
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)	
IRP申請や事務的な手続きについてはオリエンテーションで詳しく解説があり、わからないところを生徒に聞いたり、生徒でボランティアとして留学生をサポートしてくれる方がおり、メッセージアプリで聞いたら親切に教えてくださった。	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生証発行 <input checked="" type="checkbox"/> 履修登録 <input type="checkbox"/> 大学IDの設定 <input type="checkbox"/> その他	
手続きの手順	
学生証を発行する部署があるので、そこについて自分の学籍番号を伝える	
大学・学生の雰囲気	
授業がある日は比較的賑やかだと感じた。図書館などの設備も綺麗でウォーターサーバーなどもあり便利だと思う。	
授業外活動について（サークル、部活、インターン、フィールドワーク等） ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	
Society と呼ばれるサークル活動のようなものがあり、私はルームメイトと友人に誘われたのをきっかけに卓球とバレーに参加した。サークルと同じように自分が行きたいときにいけるので気軽に参加しやすかった。	

8. 留学に関するタイムチャート (留学するまでの準備)

2019年 1月～3月	
4月～6月	留学説明会に参加、IELTS講座を受講
7月～9月	
10月～12月	
2020年 1月～3月	1度目のIELTSを受験
4月～6月	
7月～9月	交換留学に応募する
10月～12月	2度目のIELTSを受験
2021年 1月～3月	交換留学のための校内面接
4月～6月	大学側から渡航は厳しいとの判断
7月～9月	渡航が確定、必要書類やクレジットカードの申請を大急ぎで行う
10月～12月	
2022年 1月～3月	
4月～6月	
7月～9月	
10月～12月	

9. 1週間のスケジュールについて（授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	授業		授業			勉強	友人と遊ぶ
			授業		授業	自由時間	友人と遊ぶ
午後	授業	授業	授業	授業	授業	自由時間	友人と遊ぶ
	勉強、課題	勉強、課題	バレー	勉強、課題	勉強、課題	自由時間	友人と遊ぶ
夕刻	買い物、夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	友人と夜ご飯	友人と夜ご飯
夜					パーティー		

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
<p>高校生の頃から留学して色々な人と交流したいと思っており、ボランティアとして大学一年生の時に留学生のサポートをした際に、熊大を訪れた留学生と交流をしたのを機にその思いがさらに強くなり留学を決意しました。自分が知らないことや知らない世界を自分の目で確かめ、体験したいと思ったからです。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
<p>もっと口語表現として覚えられるものを覚えていっておけば良かったと思います。元々それほど英語が話せるわけではありませんでしたが、比較的楽観的に考えておりあまり言語の心配はしていませんでした。親切なアイルランドの人々と友人のおかげで問題があっても丁寧な教えてくれましたが、自分ももっといろいろな表現方法を知っていれば、渡航後すぐに実際に使う準備ができて良かったと思います。</p>
留学先を選んだ理由
<p>コロナが蔓延しているまっただ中だったこともあり、多くの選択肢が元々あったわけではありませんが、以前からヨーロッパに留学したいと思っていたことと、日本人が少ない環境で海外の人の交流を楽しみたいと思っていたためアイギリスなどに比べて、渡航先としてそれほど選ばれていないと考えたアイルランドにしました。</p>
交友関係
<p>色々な国出身の人と交流することができ、互いの文化や考え方についての理解を深めることができました。留学直後は生活に慣れることができず家からあまり出なかった時期もありましたが、できるだけ多くのイベントや行事に顔を出し、積極的に話しかけることを心がけました。気になったことは相手に何でも質問すると、自分もそれを知ることができるだけでなく、相手も自分に興味を示してくれているということがわかり、さらなる信頼関係に繋がると思います。また、よく言われるように日本人は思っていることを口に出さなかったり相手に遠慮しすぎることがありますが、留学を通してそれが必ずしも良いことではなく、相手にはっきり伝えることも時には必要です。</p>
困ったこと、大変だったこと
<p>生活環境に慣れることが大変でした。私はこれまで一人暮らしもしたことがなく、ルームメイトと一緒に住むことももちろん初めてだったので、キッチンの使い方や騒音などが問題になることが多々あり、最初は非常にストレスでした。何度か話し合いをしたり改善するようにお願いしたこともありますが、それでも改善されないこともあったので、相手の気持ちになってそれが相手にとっては普通のことだからすぐには変わらないのは難しいのだ、と受け入れ、自分でできる限りのことをしました。例えば騒音については、私は静かな環境でしか勉強に集中できないためルームメイトが高確率で誰かと長時間電話するときや、どうしても終わらせたい課題があるときは図書館にもって勉強したりしました。</p>
学習内容・勉強について
<p>大学での専門教科にかかわらず、自分が受けた授業を取ることができたのは非常に良かったと思います。私は観光学を中心に、マーケティングや英語の授業、消費者心理学の授業を受けました。前期後期共に4つ授業を取り、1つの授業が1コマ1時間で3コマあります。授業中聞き取れなかったことや理解できなかった解説に関してはネットで改めて調べて復習するようにしました。読解力を付けるためにニュースを継続して読んだり、ルームメイトとその日の出来事について話すことでアウトプットの練習もしていました。私にとって最も興味深かったのが消費者心理の授業です。図書館は勉強する環境が整っているのでおすすめです。</p>
課題・試験について
<p>CA (Continuous Assignment) か、学期末のテストで成績が出されます。私のイメージではCAの方が普段の勉強量ややらなければならないことはかなり増えると思います。レポートの剽窃チェックも日本より厳しく、引用した場所の割合などは自動で判別されたりします。試験は基本的に記述形式で、大問6つのうちから4つ選んで答える、という形式が多いです。</p>

留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）

楽しいことも、大変だったことも、ストレスも、悲しかったことも全部含めて留学して本当によかったなと感じており、もし自分が留学前まで戻れるとするなら、必ず私はアイルランドに留学することを選びます。留学生活を通してあちらでの生活や人々は日本よりもリラックスしていて、人々は自分がやりたいことを全力で楽しんでいる人が多く、ライフスタイルや価値観も型にとらわれず自由だということをも身をもって感じました。そのため人によって考え方や意見が大きく異なり、理解が多少難しいと感じることもありましたが、そのような経験を通して、私自身は以前より格段に寛容になり人の気持ちを相手の立場に立って考えられるようになったと思います。それはアイルランドだけでなく留学中に訪れた国々で色々な人々と話したりその土地の文化にも触れたことも少なからず関係していると思います。そして留学先で出会った大好きな友人たちと将来また必ず再会するという目標・楽しみもでき、これからもまた会う日まで語学学習を頑張ろうと思えることができました。世界中のあらゆる所に友達ができたことは一生の財産であり、この1年間は私にとってかけがえのない人生の思い出です。本気でやろうと思えば就職後に留学することも可能ではあると思いますが、若いうちにいろいろなことを学び、肌で体感し、実際に自分の目で見て世界で何が起きているのかを知り自分で考えることは心から素晴らしいことだと思います。この留学を通して私は将来海外を相手にする仕事をしたということや、引き続き世界のあらゆるところを旅したいということを明確にでき、自分の将来を導くための指針を得られたと思います。不安や費用面、など様々な障壁はあるかもしれませんが、留学に行ったら後しているという人は聞いたことがないし、私自身それはきっとあなた自身のためになると思うので、少しでも考えてるなら、交換留学をすることをおすすめします。熊大の国際交流課の方々も非常に親身にサポートして下さいます。目標に向かって頑張ってください！

1.1. 卒業後の進路について

卒業後の進路について

進路

就職 進学 未定 その他：

いつ頃から就職活動を行いますか？

7月に帰国後、就活を始めました。

就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。

3年生の夏から留学に行く場合、帰国後から就活を始めても決して遅くないと思うので、留学中は現地での活動をめいっぱい楽しんでください

11. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
The Impacts of Tourism			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Humanities, tourism marketing		
単位数			
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	講義、グループで話し合い		
授業時間数	1コマ（1時間）×3コマ		
担当教授	Angelo Hurley		
授業内容	観光がその都市や地域に及ぼす良い影響と悪い影響について		
試験・課題など	評価基準は学期末のレポートと、試験で、レポート内容はある都市や観光地を題材としてその都市が観光により及ぼされている影響を、文化面、環境面などから分析・リサーチする。試験は授業中扱ったケーススタディの中から出題される。		
感想など	観光が及ぼす影響を、良い面と悪い面の双方から学べ、観光地として発展するには何が必要で何に注意しなければならないかを理解することができた。様々な観光地を例にとって授業で開設されたため興味深かった。		

履修した授業科目名			
International Marketing			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Business		
単位数			
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	講義形式		
授業時間数	3コマ		
担当教授	Declan Cahill		
授業内容	実際企業で使われているマーケティング方法や、マーケティングの理念・知識について		
試験・課題など	グループを作って一つのグローバルで活躍する企業のマーケティング戦略を分析・思考する。最終的に一つのレポートを作る。		
感想など	私はマーケティングの基礎部分しか知らなかったため、少し難しく感じる面がありました。しかしグループで一つの発表を作り出せたことは良い経験でした。		

履修した授業科目名			
Travel and Tour Operation			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Humanities, Tourism marketing		
単位数			
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	講義形式		
授業時間数	3コマ		
担当教授	Angelo Hurley		
授業内容	旅行代理店がどのように旅程を立てるか、ツアーパッケージの作り方、料金の定め方などについての知識を学ぶ		
試験・課題など	課題は特になく、最後の試験で結果が決まる		
感想など	私たちが目にするパッケージツアーがどのように組まれているか、そのために前準備として何が必要かを学ぶことができ、これまで知らなかったそれまでの過程をすることができ興味深かった。		

履修した授業科目名			
Digital Marketing Strategy			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Humanities, Tourism marketing		
単位数			
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	講義、レポート作成		
授業時間数	3コマ		
担当教授	Angelo Hurley		
授業内容			
試験・課題など	ある企業の社員になった仮定で、その企業のデジタルマーケティングについての分析を行ったり、目標設定を行い、レポートを作成する		
感想など	企業についての分析だけでなく、実際に自分で詳しい目標や戦略を立てて考えなければならなかったため、難しいと感じることがあった。しかしデジタルマーケティングの基本を学ぶことができたため、これからは役立つと思う。		

履修した授業科目名			
English C1			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科			
単位数			
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	講義、ペアで会話		
授業時間数	3コマ		
担当教授	Una Cummins		
授業内容	文法の違いについて説明を聞いた後、それを用いてペアで会話したり、テーマに沿ってペアで話をする		
試験・課題など	スピーキングテスト、ライティング課題、リスニングテスト		
感想など	違う国出身の人とペアを組まなければならない、毎回ペアが変わるため色々な人と話をする機会ができたためリスニングやスピーキングの良い練習にもなったし、友達もできたため良かった。教授も優しく親切で、留学生への英語の授業なので間違えてもあまり気にしなくて良かった。		

履修した授業科目名			
Sustainable Tourism			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Humanities, Tourism Marketing		
単位数			
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	講義、グループで話し合い		
授業時間数	3コマ		
担当教授	Angelo Hurley		
授業内容	SDGsを達成するために、観光業にまつわる企業・団体がどのような取り組みをしているか		
試験・課題など	普段の課題は特になく期末試験のみ		
感想など	Spring Semester に履修した The Impact of Tourism で学んだことを生かすこともあり、自分が知らなかった企業や団体のあらゆる取り組みを知ることができて、自分が思っているよりSDGs 達成のために取り組んでいる企業・団体が沢山あることに驚いたと共に、これからは積極的にそのような企業・団体をサポートしていきたいと思った。		

履修した授業科目名			
E-Commerce and Web Authoring			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Humanities, Tourism Marketing		
単位数			
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	講義、ウェブサイト作成		
授業時間数	3コマ		
担当教授	Annetta Stack		
授業内容	ターゲット層に向けたウェブサイト作成		
試験・課題など	ウェブサイト作成、発表、レポート		
感想など	ウェブサイトを見やすくするための基本的な原則を学ぶことからはじめ、それをもとに自分でお店を想定し、ターゲットのペルソナ設定、ウェブサイトを作る目的など、全てを1から作りあげなければならず、非常に大変でした。しかしそれと同時に、レイアウトや配色に注意しながら見やすく消費者を引きつけるサイトを作るにはどうすれば良いかを考えるのはなかなか内機会だったのでためになった。		

履修した授業科目名			
The Consumer Environment			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Business		
単位数			
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	講義		
授業時間数	3コマ		
担当教授	Marie O`Dwyer		
授業内容	消費者の文化的・社会的価値観がどのように消費者の購買意欲に影響を与えるか		
試験・課題など	期末試験		
感想など	消費者の世代、性別、文化、社会階級などのあらゆる観点からどのように影響を受けやすく、何のためにものやサービスを消費するのかを学び、それらのターゲット別にどのようなマーケティング戦略が効果的であるかを検討するのが非常に楽しかった。		

熊本大学海外派遣留学生 報告書

記入日： 2022 年 7 月 28 日

氏名	Cさん		
留学開始時学年	4 年次		
学部/教育部	文学部	学科/専攻	コミュニケーション情報学科
留学先機関名	ウォーターフォード工科大学	国・地域名	アイルランド・ウォーターフォード
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（ 学部・研究科） <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2022 年 9 月 1 日 ～ 2022年 5 月 19 日		
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他：		

1. 留学費用（日本円）

授業料（留学先）	0		円
語学研修費	-		円
教材費	0		円
ビザ申請費	39,000		円
渡航費	192,000		円
海外旅行保険料	138,000		円
宿舍費	家賃	495,000 円	デポジット 40,000 円
生活費	光熱費	8,000 円 / 月	72000 円 / 年
	食費	25,000 円 / 月	225000 円 / 年
	通信費	2,900 円 / 月	26100 円 / 年
	交通費	0 円 / 月	0 円 / 年
その他	（ 費）		円
その他	（ 費）		円
その他	（ 費）		円
合計	1,227,100		円

2. 渡航前準備について

留学に向けて取り組んだ語学	
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他： 語
受験した語学能力試験	<input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> その他：
勉強方法	学内のIELTS講座に参加しました。また、友人と一緒に勉強したり、ゼミの教授にスピーキングの対策をしてもらったりしていました。早めに取り組むことをおすすめします。
留学先の手続き	
必要書類	<input type="checkbox"/> 語学能力証明書（ 英語 語） <input type="checkbox"/> 健康診断書 <input checked="" type="checkbox"/> パスポートの写し <input type="checkbox"/> その他：
大変だったこと、どのように取り組んだか等	コロナ禍により渡航一か月前に留学許可が下りたので、時間に追われていたことが一番大変でした。自己隔離の寮やPCR検査の手配も必要だったので渡航までは不安になる暇がないくらい忙しかったです。時差が8時間あるので、すぐに返信しないと疑問点を解決するのに3日以上かかります。些細なことですが深夜に届いたメールをすぐに返信したり手続きしたりしなければならぬことも大変でした。

3. ビザ・入国時に必要な手続きについて

ビザ申請			
有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	種類	IRP card
申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input checked="" type="checkbox"/> 現地 場所：Immigration Office	手続きに 要した期間	2 か月ほど
手続きの流れ	メールで予約（9/6）→地元の警察署(Garda)のイミグレで手続き（10/20）→郵送（11月上旬）		
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> 入学証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 残高証明書（金額：3,000€以上、ゆうちょの円建てのものを準備しました） <input checked="" type="checkbox"/> 保険証 <input checked="" type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 語学能力証明書 <input checked="" type="checkbox"/> その他：IRP Letter(大学に発行してもらいます)、住所を証明できるもの（寮の契約書を使用しました）、申請料300€(現金不可)		
ビザ申請以外で入国時に必要な手続き			
入国審査は厳しくありませんでした。コロナ禍だったためワクチン接種証明書と陰性証明が必要とのことでしたが、ワクチン接種証明書を確認されただけでした。			

4. 渡航関連

利用航空会社	経由地				
往路：JAL, British Airways 復路：Finnair, JAL	往路：熊本→羽田→ヒースロー→ダブリン 復路：ダブリン→ヘルシンキ→成田→熊本				
手配（利用したサイト、旅行会社等）	旅程				
JAL 公式サイト	<table border="1"> <tr> <td>出発日時</td> <td>8月 14日</td> </tr> <tr> <td>到着日時</td> <td>8月 15日</td> </tr> </table>	出発日時	8月 14日	到着日時	8月 15日
出発日時	8月 14日				
到着日時	8月 15日				

5. 住居について

住居について			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他：	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 1人部屋 <input type="checkbox"/> 相部屋（ 人） <input type="checkbox"/> その他：
同居人	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生	住居手配	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他：
住居の申込 手順・方法	寮のウェブサイト申請→メールでデポジットの案内（銀行で海外送金をしました）		
住居に関する アドバイス (寮の雰囲気、トラブル および解決方法等)	寮は早く埋まってしまうので、早めに予約することをおすすめします。バストイレは個室にあるものの、男女混合なことに驚きました。Riverwalkは壁が薄く隣人の生活音が気になるかもしれません。また、同じ国の学生が同じ部屋に割り当てられることが多いので、他の国の学生と一緒に住みたい場合は備考欄に希望を書くといいと思います。		
大学への交通手段	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他：	通学時間	30分

6. 現地情報・その他生活に関するアドバイス

現地での資金調達について（現地銀行口座の開設、クレジットカードの利用について等）	
銀行口座は開設せず、クレジットカード2枚のみで生活していました。Apple Payを使えるようにしておくと便利だと思います。利用限度額が気になるのでクレジットカード3枚かデビットカードがあると安心かもしれません。JCBは使えませんでした。	
保険について	
海外旅行保険	<input checked="" type="checkbox"/> 国内で加入 <input type="checkbox"/> 現地のものに参加
現地で加入を求められる保険	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり：
携帯電話・インターネットについて	
携帯電話について (SIMカードの購入について等)	現地のThreeという会社のSIMカードを利用しました。20€で28日無制限のプランでした。
インターネットについて (ネット環境、Wi-Fiについて等)	寮と大学はWi-Fiが利用できました。

相談窓口について	
有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 学内（担当： WITのInternational Office ） <input type="checkbox"/> 学外（機関名： ）
問題があったときに誰に相談したか	大学のInternational Officeのスタッフにメールで問い合わせしていました。
病院について	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用しなかった	<input type="checkbox"/> 利用した：
現地では調達できない日本から持って行くべきもの	
常備薬、歯ブラシ、小さい洗濯板と物干しとセームタオル(頻繫にコインランドリーが7€と高いので手洗いする際重宝しました)(アジアマーケットで出汁以外の日本食は調達できました。)	

7. 留学先機関について

履修登録	
時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前（ 4~5 月頃） <input type="checkbox"/> 渡航後（ 月頃）
方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他：
留学生特例措置（有りの場合、詳細をご記入ください）	
履修制限	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り（各セメスター15ECTS以上30ECTS以下。原則各Moduleあたり5ECTSでした。）
優先措置	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
オリエンテーション（留学生専用）	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り（ コロナ禍の為オンラインで実施されました。 ）
チューター制度	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り（ 顔合わせの時期が遅く、あまり機能していないようでした。 ）
その他	
留学先大学でのサポート体制について <small>（語学面/学校生活/住居・日常生活等）</small>	
分からないことはメールで大学のスタッフに問い合わせました。新学期は問い合わせが多いので返信が遅いことに加え、コロナでインターナショナルオフィスはリモート勤務で閉まっていたため困ることがありました。語学のサポートとしては留学生向けの英語の授業がありました。日本での英語の授業と比べると物足りなさを感じるかもしれませんが、他の留学生と知り合う良い機会なので参加することをおすすめします。	
留学開始後に行った留学先大学の手続き	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生証発行 <input checked="" type="checkbox"/> 履修登録 <input checked="" type="checkbox"/> 大学IDの設定 <input type="checkbox"/> その他	
手続きの手順	
学生証は事前にオンラインで写真をアップロードし、大学内のオフィスで受け取りました。履修登録は渡航前に行いますが、時間割は最初の3週間の変動し時間が重なる場合があります。結局修正することになると思うので渡航前は悩みすぎなくて大丈夫だと思います。	
大学・学生の雰囲気	
大学は小さいですが、カフェテリアや図書館など設備は整っています。図書館では荷物を置いて席を離れる学生がいるくらい治安は良いです。現地の学生より留学生と交流する機会が多いと思います。Brexitにより英語を学びたいEU圏の留学生がアイルランドに集まります。初めは圧倒されていましたが、親切で日本人に興味を持ってくれる学生も多かったです。	
授業外活動について（サークル、部活、インターン、フィールドワーク等） <small>※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に</small>	
留学生の友人に誘われてスイミングクラブに参加しました。初めは現地の生活に慣れることで一杯一杯だったので、大学と寮の往復のみの生活でした。次第に余裕ができ、友人と出かけたり留学生のイベントに参加したりしていました。留学生のWhatsAppのグループや大学からのメールでイベントの情報はアナウンスされていました。	

8. 留学に関するタイムチャート (留学するまでの準備)

2019年 1月～3月	IELTS対策
4月～6月	IELTS対策
7月～9月	IELTS対策
10月～12月	IELTS受験、交換留学申請
2020年 1月～3月	—
4月～6月	4～5月オンライン申請、履修登録、6月渡航中止
7月～9月	
10月～12月	
2021年 1月～3月	
4月～6月	オンライン申請、履修登録
7月～9月	7月渡航決定、寮や航空券の手配、8月渡航、自己隔離、9月講義開始
10月～12月	12月期末試験、冬休み
2022年 1月～3月	2セメスター目開始
4月～6月	4月イースター休暇、5月期末試験、6月帰国
7月～9月	
10月～12月	

9. 1週間のスケジュールについて (授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	大学						
		大学	大学	洗濯	大学	掃除	友人と外出
午後				勉強		勉強	
				勉強		勉強	
夕刻	帰宅	帰宅	スイミング		友人と外食		帰宅
夜	勉強	勉強	帰宅				勉強

10. 留学成果とアドバイス

留学しようと決めた理由
英語を上達させたかったこと、日本を外から見て見たかったことから留学を希望しました。交換留学は大学のサポートが手厚く、奨学金も優先的に受けられるのでとても助けられました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備
1年生の頃からIELTSの対策に取り組みました。2年の夏休みにフィリピンへ短期留学したことで外国で暮らす心構えができました。英語を学ぶことと生活で使うことは大きく違ったので、オンライン英会話などを活用して英語を使う練習をしておけば良かったと思いました。また、日本文化に興味をもってくれる友人が多かったので自国の文化について勉強することも大切だと感じました。
留学先を選んだ理由
英語圏で日本人が少ないことと観光学を履修できることからアイルランドの大学を選びました。実際日本人は大学全体で6人ほどと少なかったです。また、ヨーロッパの他の国を旅行してみたいという気持ちもありました。ヨーロッパのLCCであるRyanairの便がダブリン空港からたくさん出ているので便利でした。
交友関係
現地の学生よりも交換留学生と関わるが多かったです。積極的にイベントやパーティーに参加すると交友関係が広がられると思います。初めは会話のすべてを理解できず怖気づいてしまうこともありましたが、分かったふりをしないことが大切だと感じました。また、一人では解決できないことが起こると思うので強がらずに素直に人に頼ることも必要だと思います。
困ったこと、大変だったこと
アイルランド英語は早口でアクセントが強く、初めの頃は聞き取ることにとても苦労しました。地域によってアクセントが異なるので完璧に準備するのは難しいと思いますが、YoutubeやPodcastなどで標準的なアイルランド英語になれておくと少しは役に立つかもしれません。PodcastでRTÉNewsというアイルランドの公共放送が聞けます。
学習内容・勉強について
観光学を履修したことがなく、アイルランドの観光の知識がなかったため、初めは意見を出すことも難しく感じました。事前に授業内容が分からないので予習よりも復習に時間を割いていました。現地学生の中に飛び込んで受ける授業は緊張感がありますが、初めに留学生であることを教授に伝えると気にかけてもらえると思います。また、一部を除いて現地学生よりも留学生の方が真面目に授業に出席するので、他に留学生がいる授業の方が協力し合いながら勉強できるかもしれません。
課題・試験について
CA(継続的評価)とEXAM(期末試験のみ)の2種類の評価方法がありました。期末試験の自信がなかったため1セメスター目はCAの講義を多めに選んでいましたが、毎週のように課題があるので予定が立てづらかったです。2セメスター目はプレゼンテーションで評価される講義も履修し、良い経験になったと感じています。
留学を通しての感想（留学を希望する人へアドバイス等あれば）
コロナ禍だったのにも関わらず、渡航許可を出していただけたことにとても感謝しています。1年延期になったことで留学できることの有難みを常に感じながら過ごしていました。そのおかげで現地で問題に直面しても、良い経験だと気楽に捉えて対処することができました。交換留学は準備に時間がかかる上、経済的な心配や留年することなど不安に思うことがたくさんあると思います。しかし、今振り返るとその期間も含め自分を成長させてくれる貴重な経験だったと感じています。なにより、留学を終えた今、留学をしてよかったと心から思えます。交換留学を目指すまでの過程ではIELTSの勉強やアルバイトに追われ、一人で頑張っているような気になってしまうこともありましたが、留学は私一人の力では成し遂げられませんでした。日本の友人や家族、国際教育課の職員の方、アイルランドで出会った友人や大学のスタッフが支えてくれたおかげで乗り越えられたと思っています。元々自信がなくマイナス思考の性格でしたが、留学を通して少しだけ自信がつき前向きに考えられるようになったように思います。また、語学面で成長できただけでなく、様々な国からの留学生と出会い、ヨーロッパの国々を訪れたことは、かけがえのない経験でした。交換留学の準備は長期戦なので精神的にも身体的にもきつくなるときがあるかもしれませんが、その頑張りに見合った成果を得られるはずですよ。周囲を見方につけて上手に頼りながら頑張ってください。応援しています。

11. 卒業後の進路について

卒業後の進路について			
進路			
<input checked="" type="checkbox"/> 就職	<input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他：
いつ頃から就職活動を行いますか？			
帰国後すぐに就活を始めました。			
就職活動に関して、留学希望者に何かアドバイスがあればご記入ください。			
面接の際に交換留学をしていたと話すと興味を持って話を聞いてもらえました。留年扱いになりますが、交換留学が不利になったと感じたことはありませんでした。同級生より就活が遅れてしまうことを不安に思うかもしれませんが、留学での経験は就活で強みになるはずなので自信を持って挑戦してほしいです。			

11. 履修した科目について（スペースが足りない場合は各自コピーして追加してください。）

履修した授業科目名			
The Impact of Tourism			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Tourism Marketing		
単位数	5ECTS		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	3時間/週		
担当教授	Hurley, Angelo		
授業内容	観光が経済、文化、環境へ与える影響について学びました。ケーススタディを用いてグループで話し合いをしました。		
試験・課題など	レポート、期末試験		
感想など	英語を聞き取ることすら難しく理解できないこともありましたが、留学生ということもあり先生がかなり気にかけてくれました。初めに期末レポートの課題が発表されたので余裕を持って取り組むことができました。		

履修した授業科目名			
Travel & Tour Operations			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Tourism Marketing		
単位数	5 ECTS		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	3時間/週		
担当教授	Hurley, Angelo		
授業内容	旅行会社がどのようにツアーを組むのかを学びました。数値をもちいて計算練習も行いました。		
試験・課題など	期末試験		
感想など	少人数の授業だったため質問がしやすく、理解を深めることができました。パッケージツアーの価格を計算する授業もあり少し特殊で興味深かったです。		

履修した授業科目名			
Tourism Studies			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Business in Tourism		
単位数	5 ECTS		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面/ オンライン		
授業時間数	3時間/週		
担当教授	Fabrice Bartholin		
授業内容	アイルランドの観光の基礎を学びました。3人のグループでウェブサイトを作成することが最終課題でした。		
試験・課題など	課題、中間テスト、グループ課題		
感想など	2年生の授業だった為、他の観光学の授業より易しかったです。グループ課題は協力的でないメンバーがいたので苦労しましたが、なんとか連絡を取り合い仕上げることができました。		

履修した授業科目名			
EFL Level B1.3			
使用言語	英語	履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Arts		
単位数	5 ECTS		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	3時間/週		
担当教授	Una Cummins		
授業内容	アカデミックではなく日常生活で使う語彙や表現を学びました。ライティングはほとんどなく、会話練習が多い実践的なものでした。		
試験・課題など	中間課題、期末課題、期末試験（文法、リスニング、スピーキング）		
感想など	留学生のみなので安心感がありました。友人作りにも最適な授業でした。文法の授業では困ることはありませんでしたが、スピーキング練習ではヨーロッパの留学生に圧倒されていました。		

履修した授業科目名			
Sustainable Tourism			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Tourism Marketing		
単位数	5 ECTS		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	3時間/週		
担当教授	Hurley, Angelo		
授業内容	持続可能な観光のための対策を考えました。毎週ケーススタディを用いて話し合いを行いました。		
試験・課題など	期末試験		
感想など	英語にもクラスメイトにも慣れ、1 Semester目よりも楽しみながら授業を受けることができました。また、グループでの話し合いでも意見を出せるようになり有意義でした。		

履修した授業科目名			
Intercultural Studies			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Hospitality Management		
単位数	5 ECTS		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	3時間/週		
担当教授	De Brun, Christa M		
授業内容	Hofstede Insightsというウェブサイトを参照しながら異文化理解のための知識を深めました。		
試験・課題など	プレゼンテーション		
感想など	私以外全員現地の学生でした。2週目以降現地学生の出席が大きく減り、私以外全員欠席の日もありました。現地の学生はプレゼンが上手で、とても勉強になりました。		

履修した授業科目名			
EFL Level B2.2			
使用言語	英語	履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Spring
科目設置学部・研究科	Arts		
単位数	5 ECTS		
単位互換	<input type="checkbox"/> 申請（単位数： ） <input checked="" type="checkbox"/> 申請しない		
授業形態	対面		
授業時間数	3時間/週		
担当教授	Una Cummins		
授業内容	アカデミックではなく日常生活で使う語彙や表現を学びました。ライティングはほとんどなく、会話練習が多い実践的なものでした。		
試験・課題など	中間課題、期末課題、期末試験（文法、リスニング、スピーキング）		
感想など	英語を理解することと使うことは違うのだと実感しました。習ったことが身に付くまで学習を続けようと思いました。1セメスター目よりも理解できることが増え、成長を感じました。		